

# 刈り倒し(枯死)：耐病総太り

対照区



ベッチ区

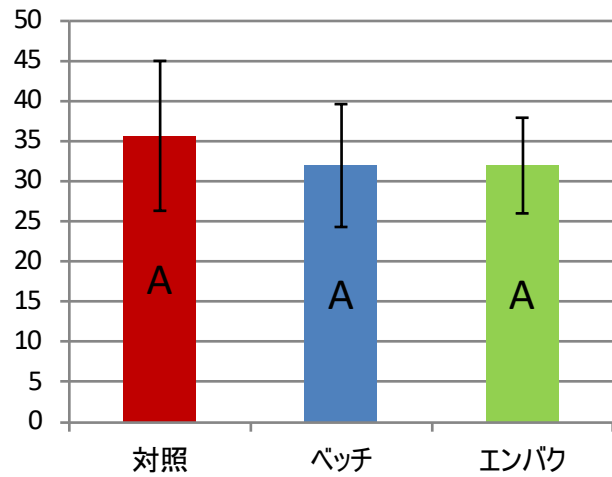


エンバク区

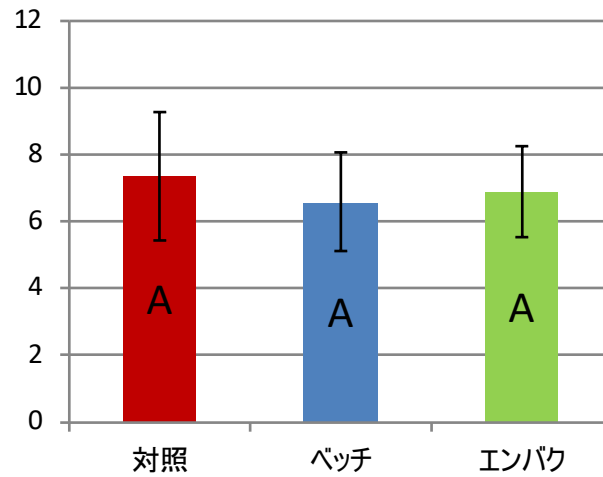


# 刈り倒し(枯死)：耐病総太り

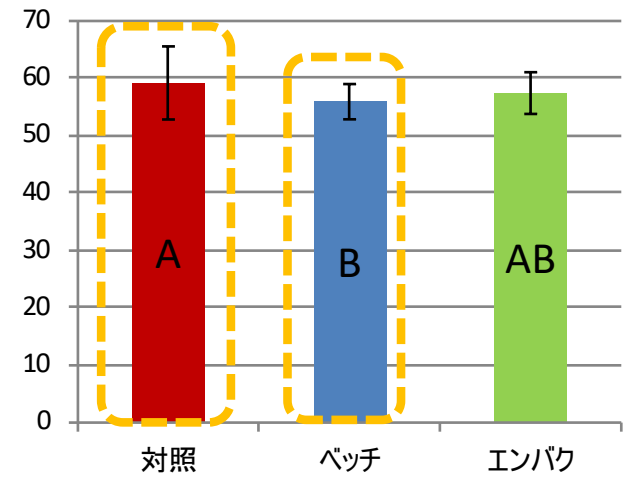
## 茎根長(cm)



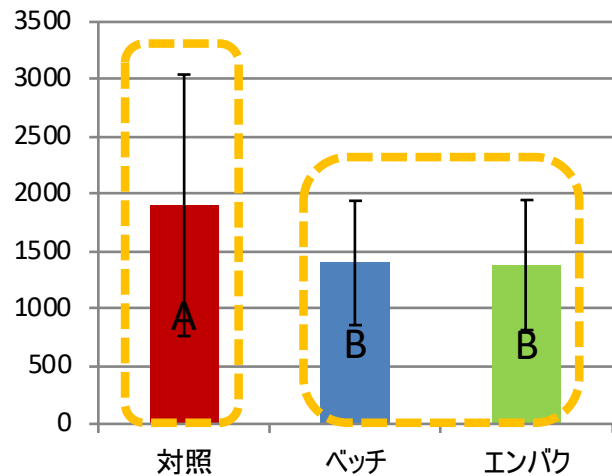
## 根径(cm)



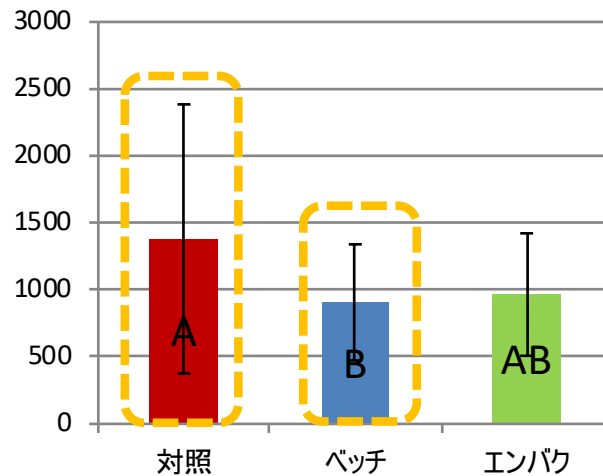
## 葉長(cm)



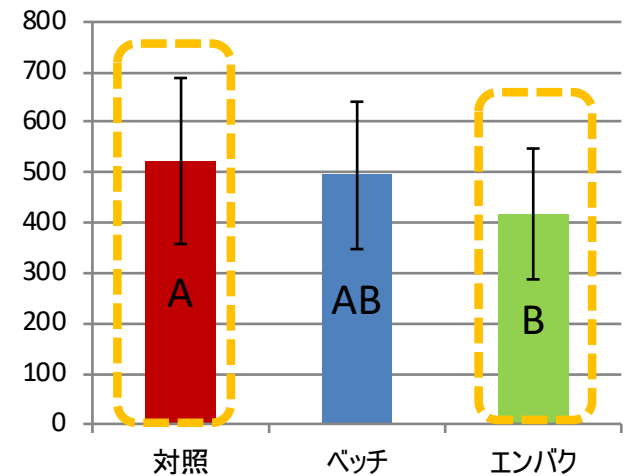
## 総重量(g/本)



## 茎根重(g/本)

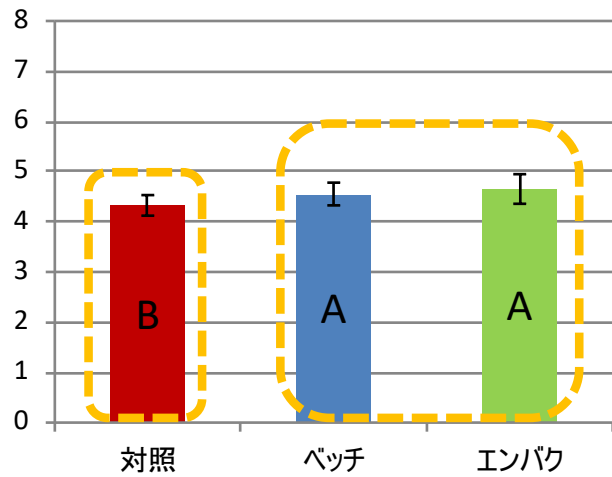


## 葉重(g/本)

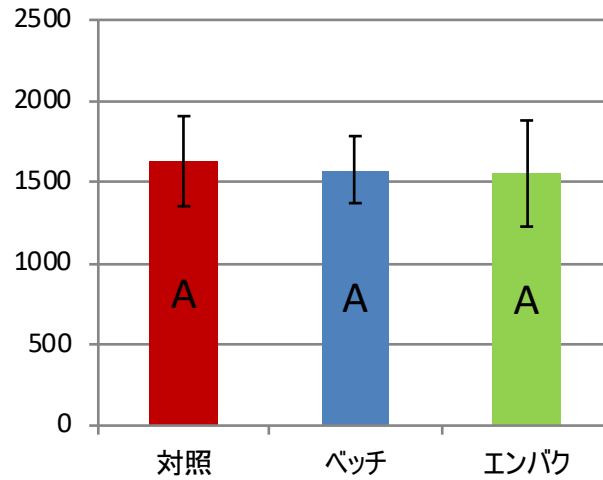


# 刈り倒し(枯死)：耐病総太り

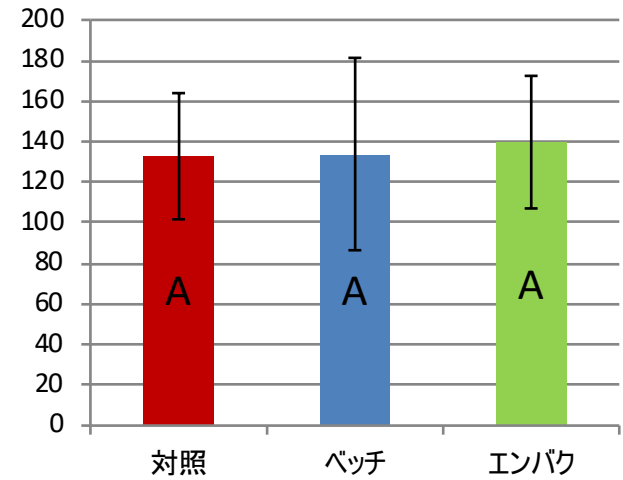
## 糖(Brix %)



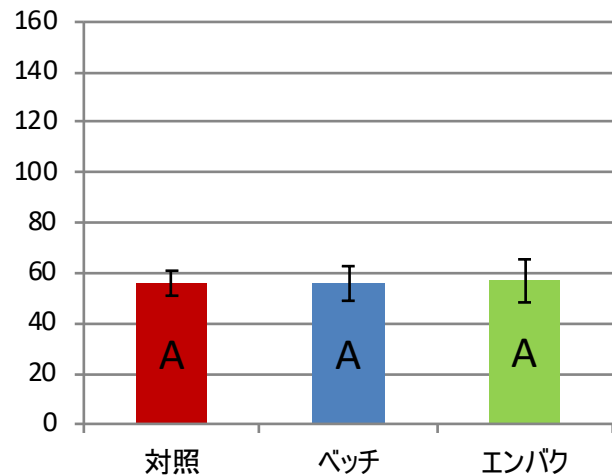
## K+(ppm)



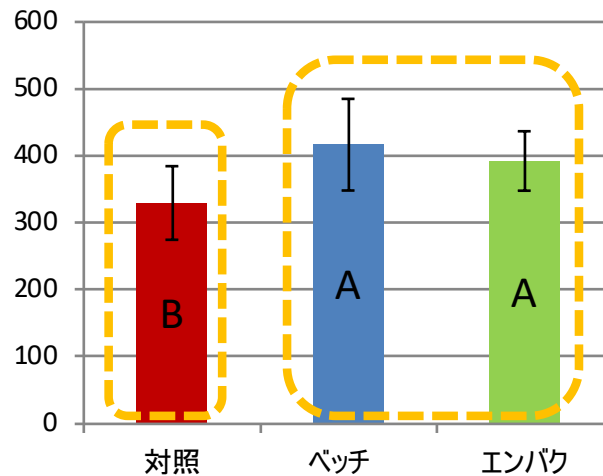
## Ca2+(ppm)



## ビタミンC(ppm)



## ポリフェノール(ppm)



# すき込み：緑輝

対照区



ベッチ区

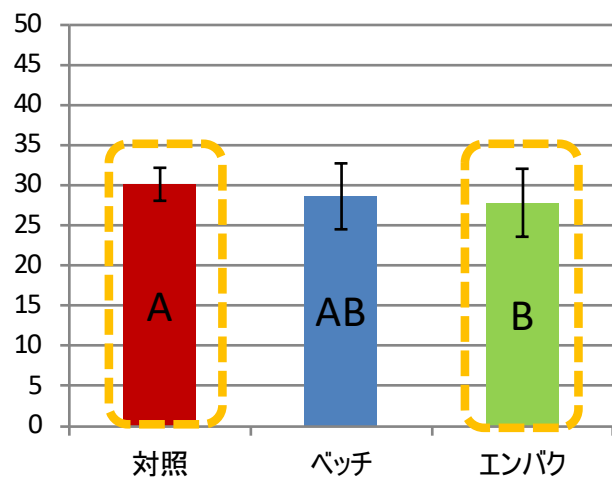


エンバク区

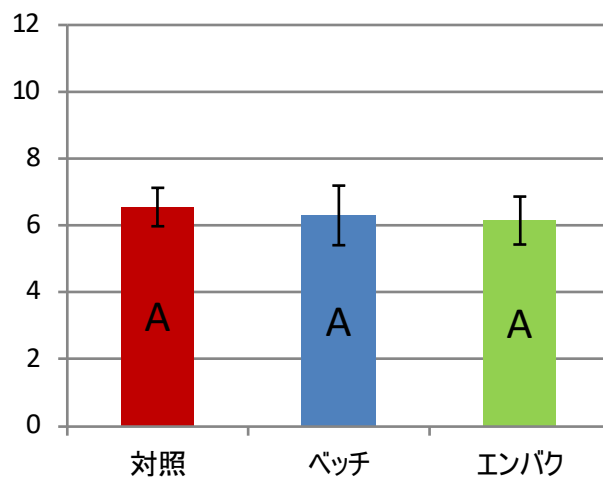


# すき込み：緑輝

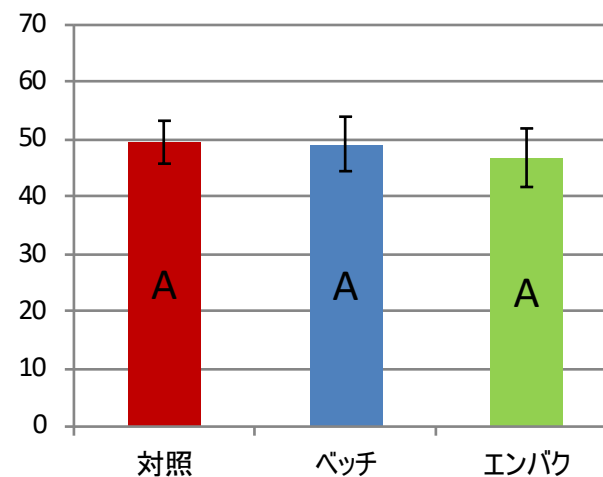
## 茎根長(cm)



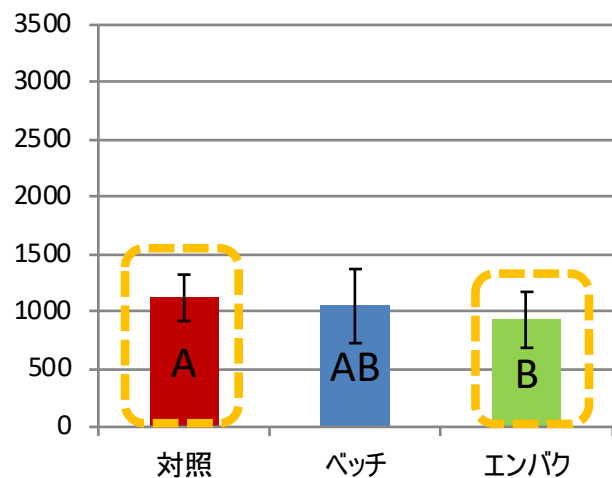
## 根径(cm)



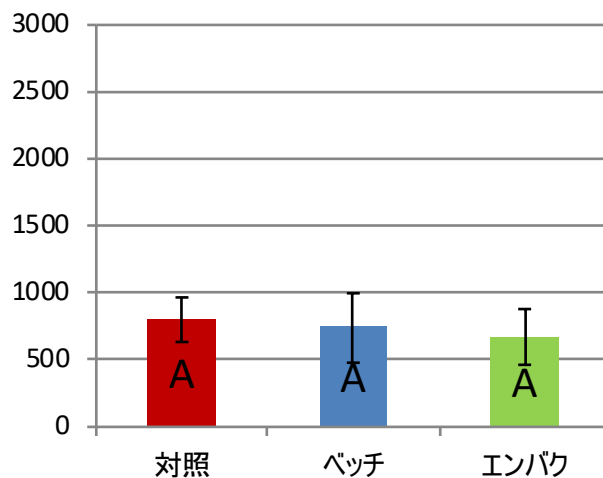
## 葉長(cm)



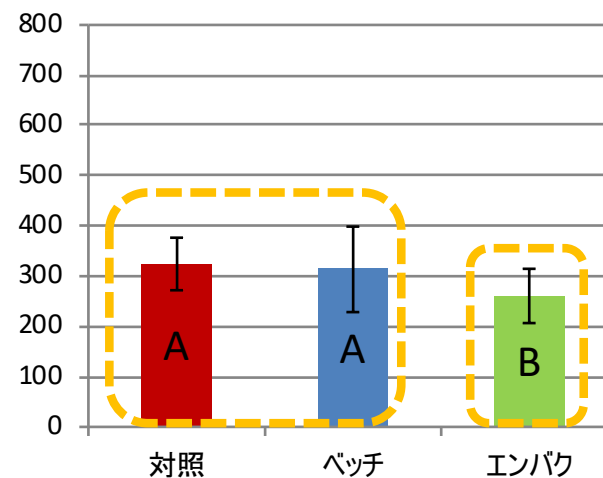
## 総重量(g/本)



## 茎根重(g/本)

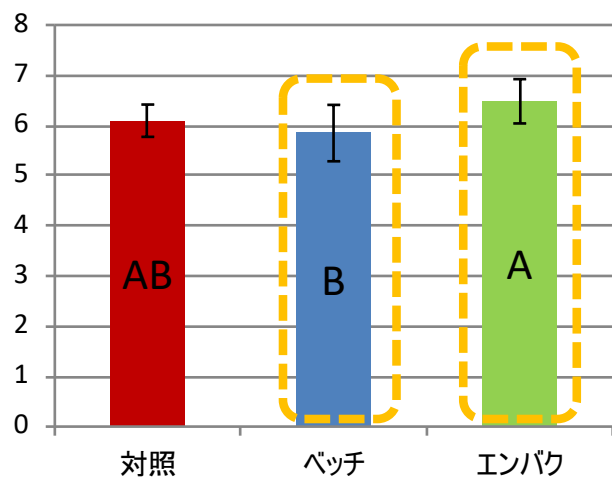


## 葉重(g/本)

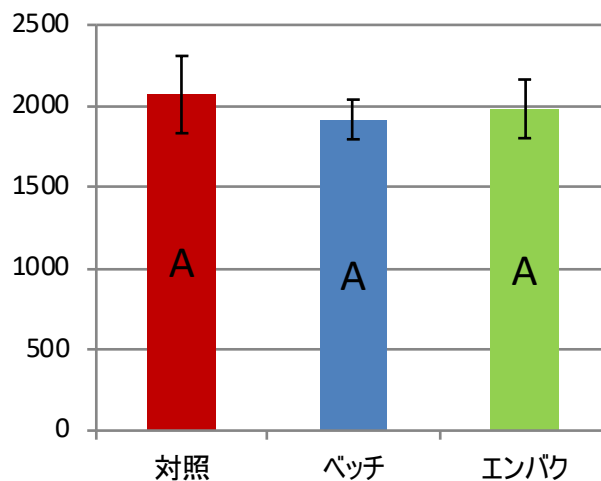


# すき込み：緑輝

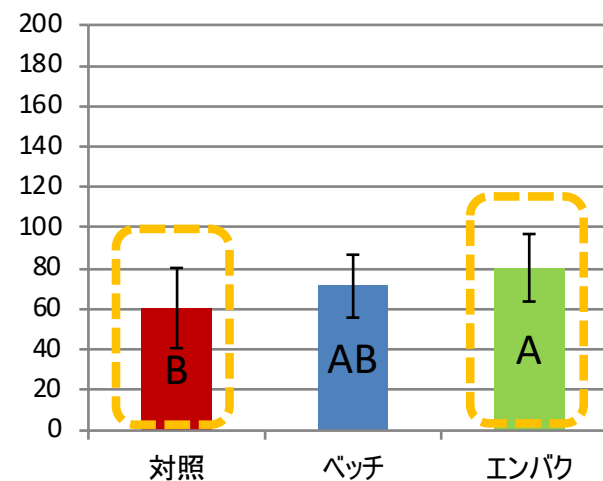
## 糖(Brix %)



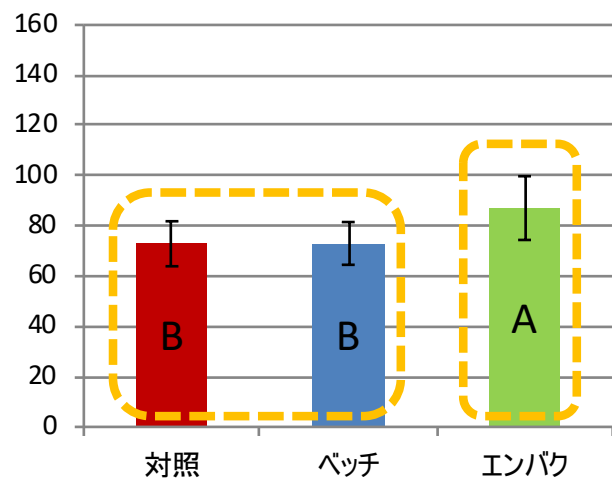
## K+(ppm)



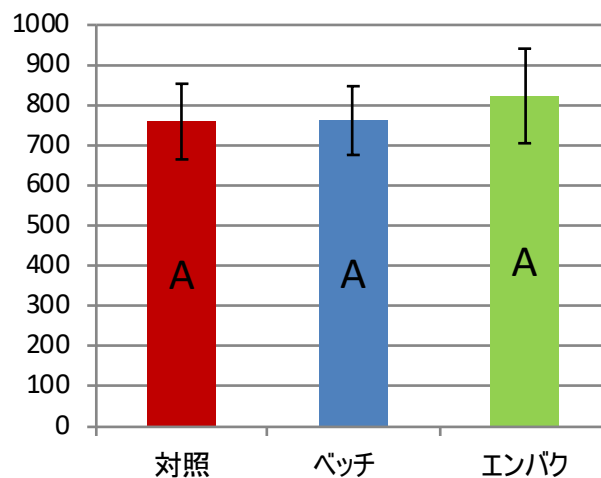
## Ca2+(ppm)



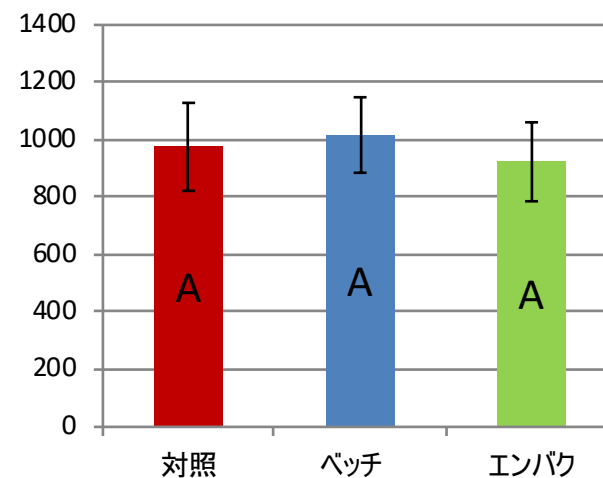
## ビタミンC(ppm)



## ポリフェノール(ppm)



## 硝酸態窒素(ppm)

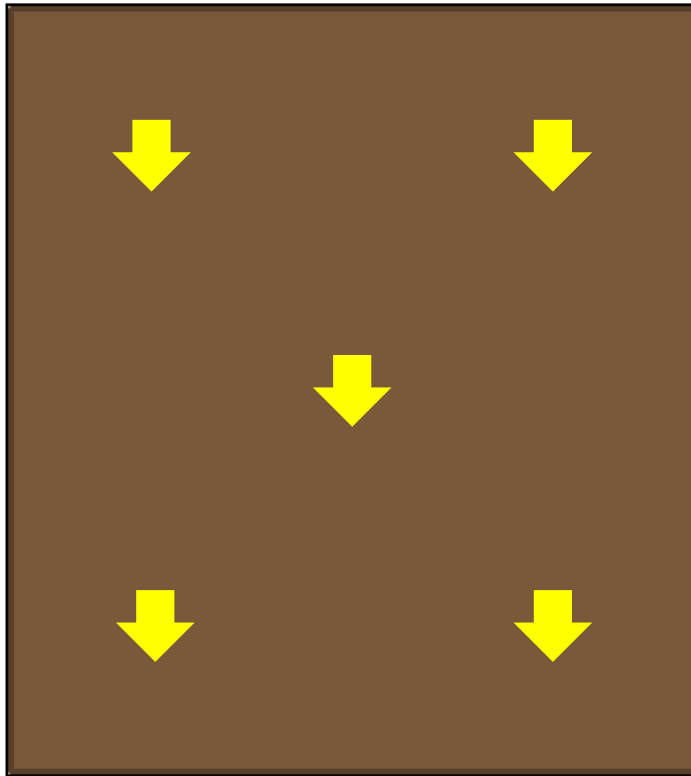


# 圃場作土層における 土壌化学性の変化

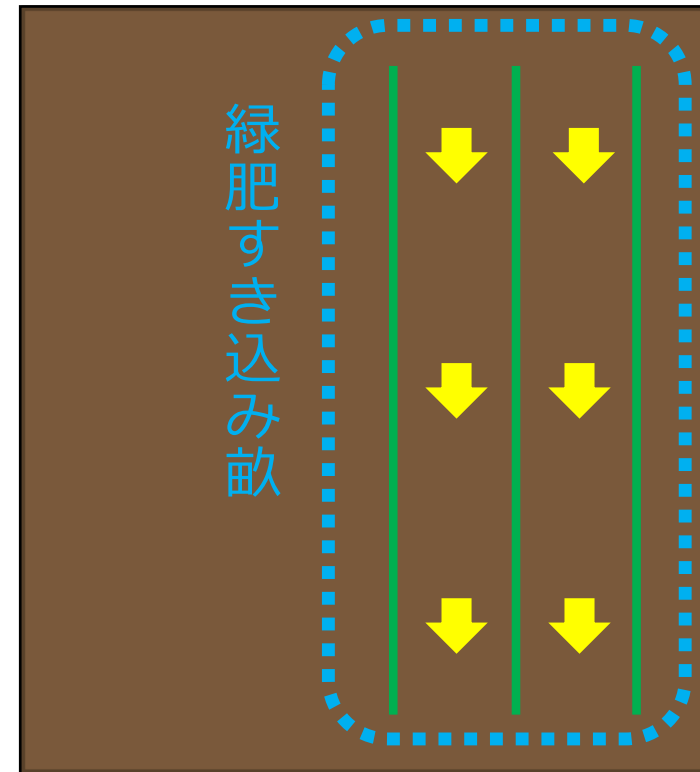


# サンプル土壤の採取

《栽培前》 H27,5/8



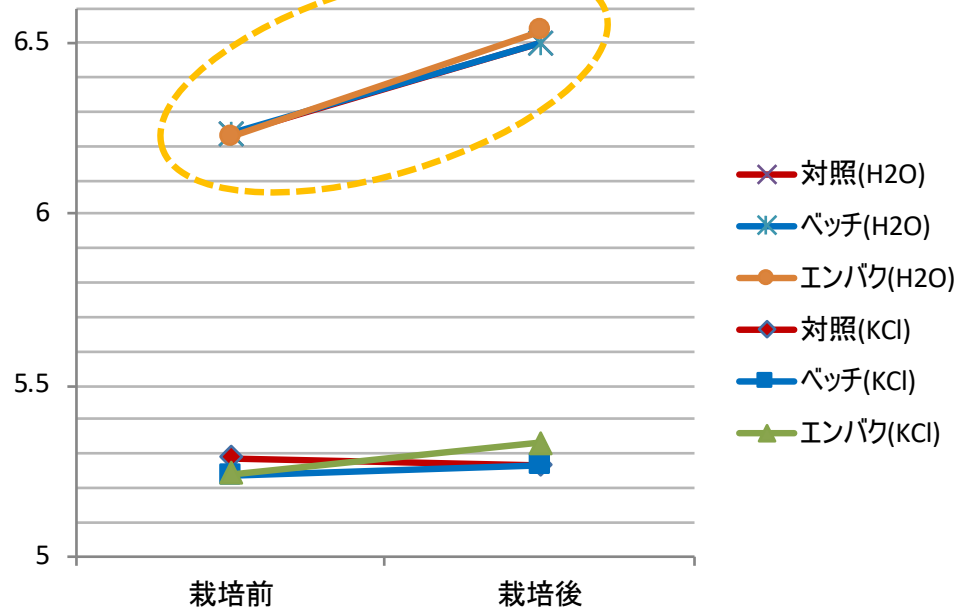
《栽培後》 H27,11/2



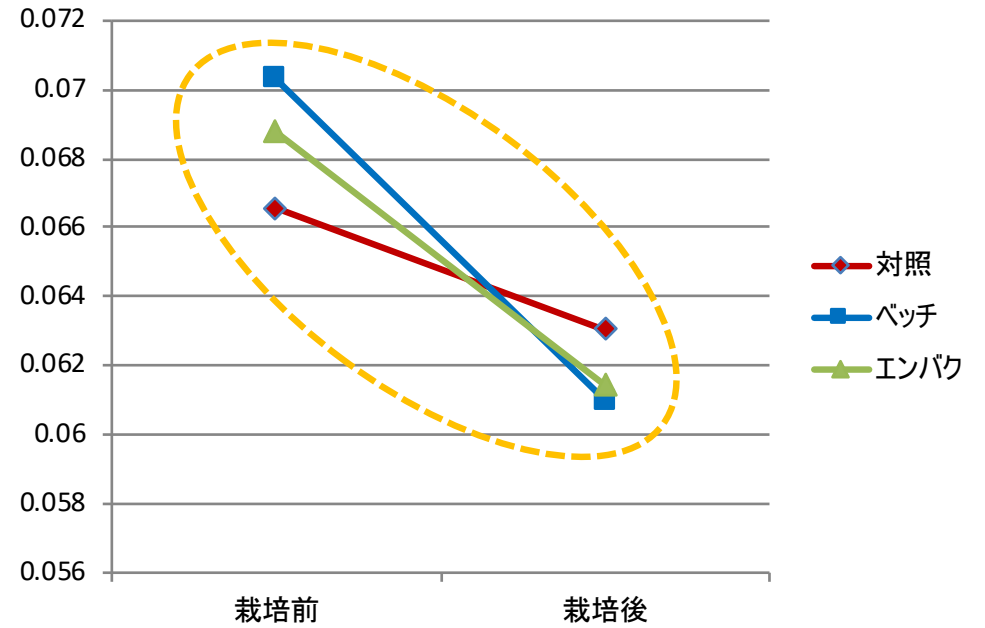
地表から20cmまでの土壤をサンプルとして採取後、恒温機(約50°C)で一週間乾燥



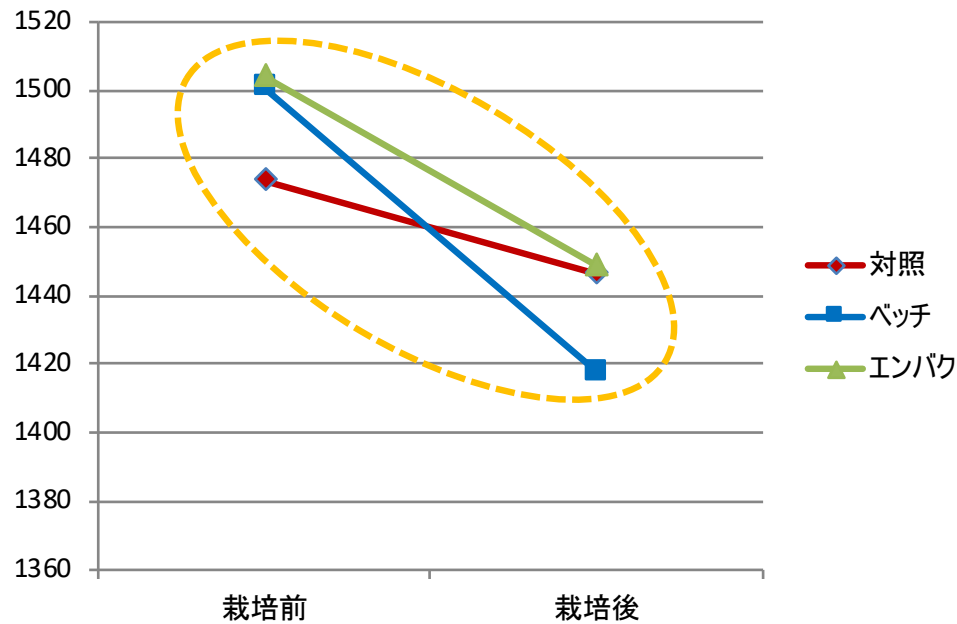
### pH(H<sub>2</sub>O・KCl)



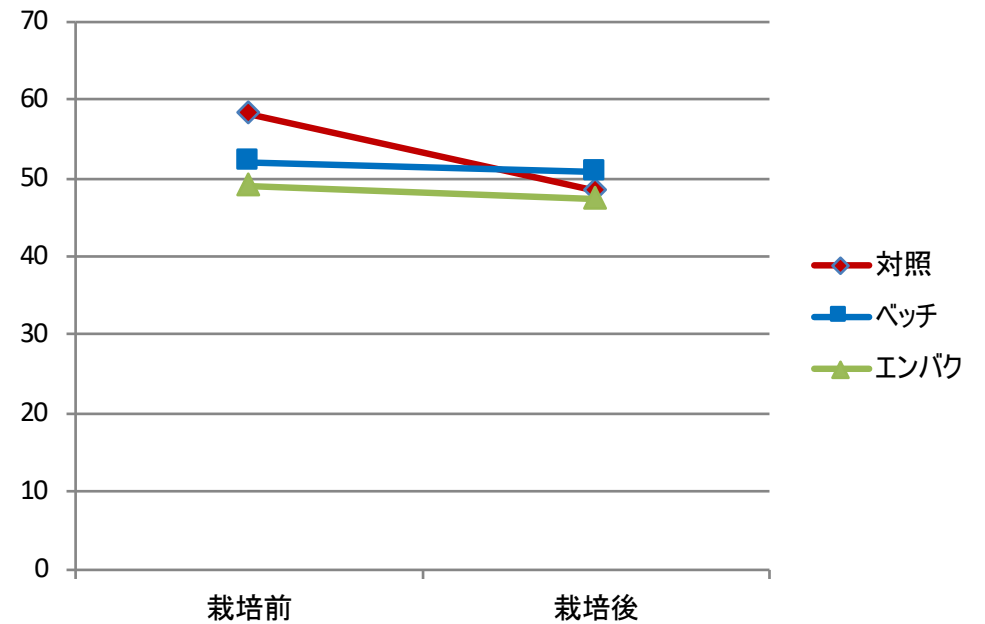
### EC



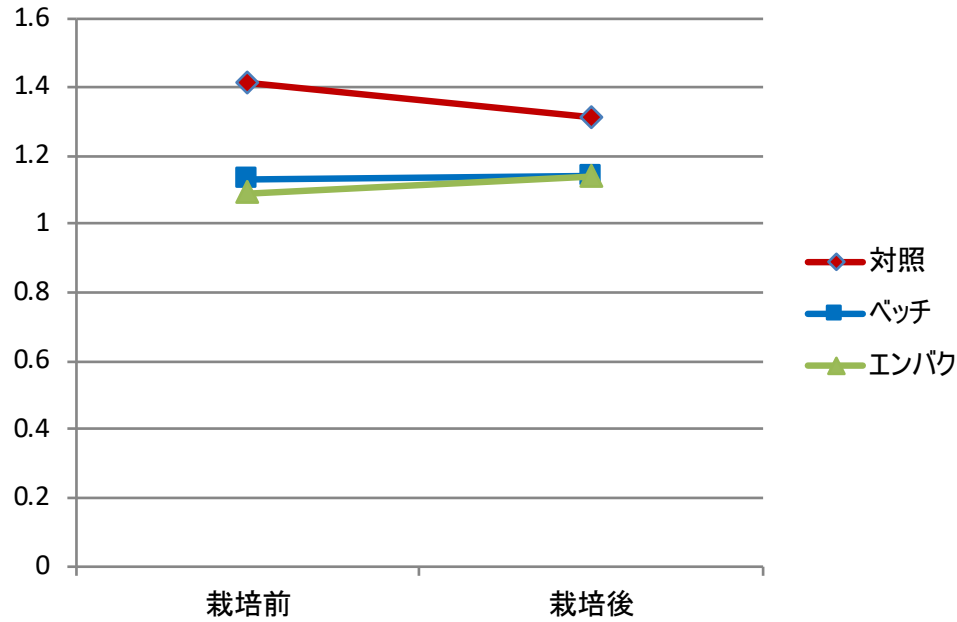
### リン酸吸収係数



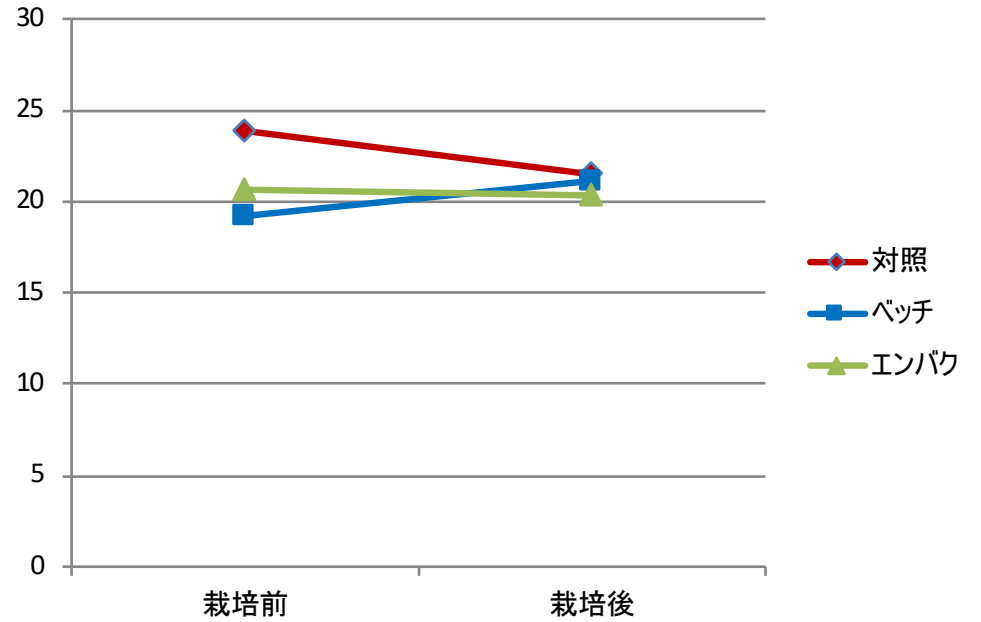
### 可給態リン酸 (meq/100g風乾土) Bray No.2 準法



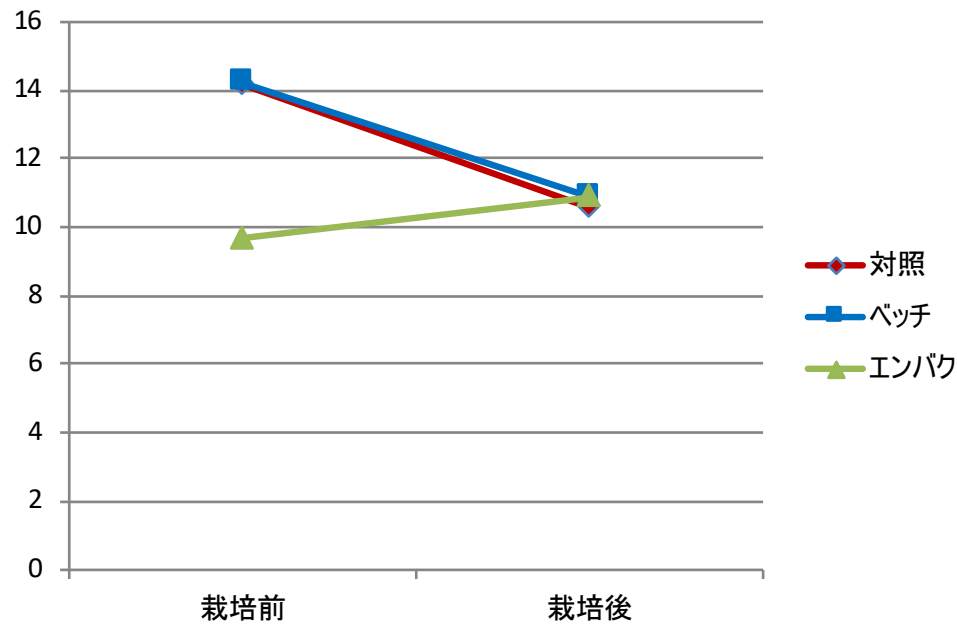
### 交換性Mg(meq/100g風乾土)



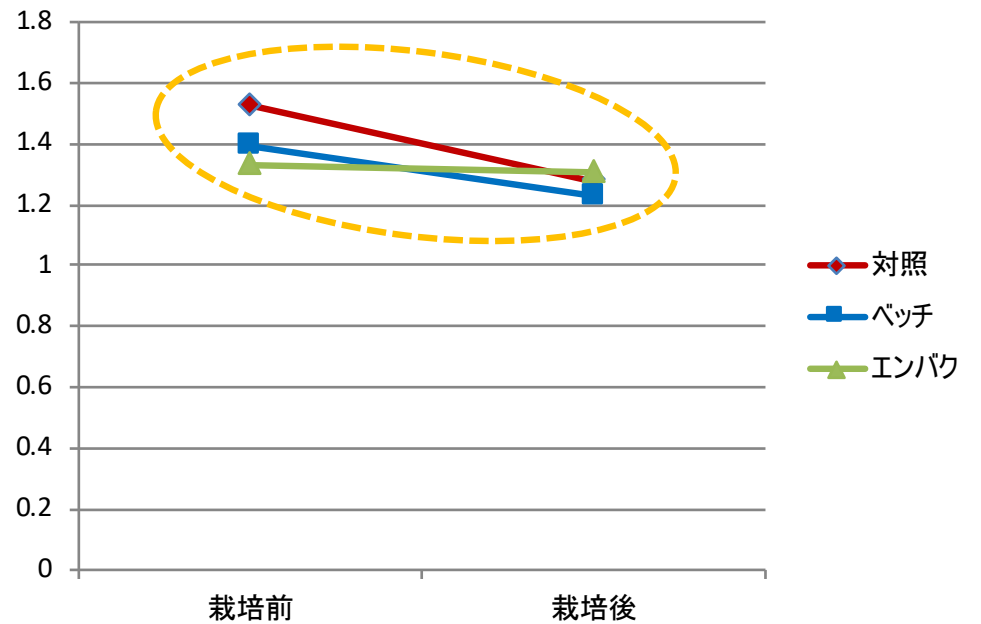
### 陽イオン交換容量(CEC)(me/100g風乾土)



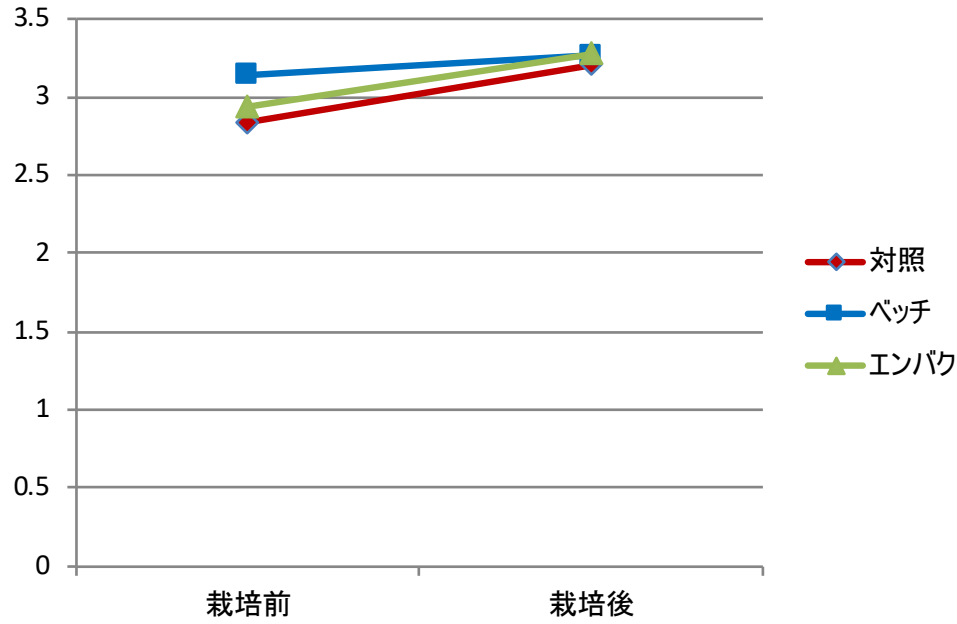
### 交換性Ca(meq/100g風乾土)



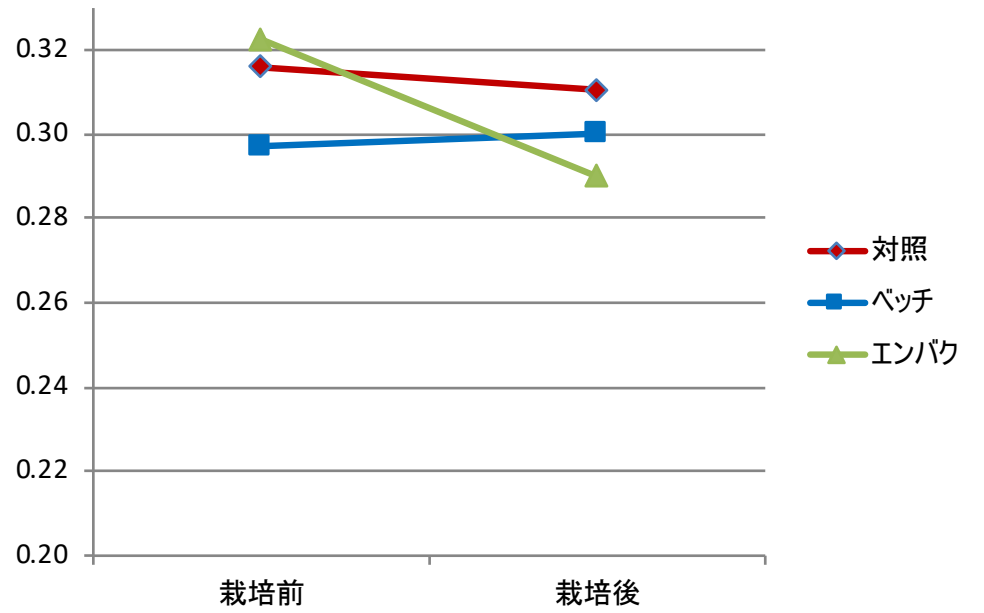
### 交換性K(meq/100g風乾土)



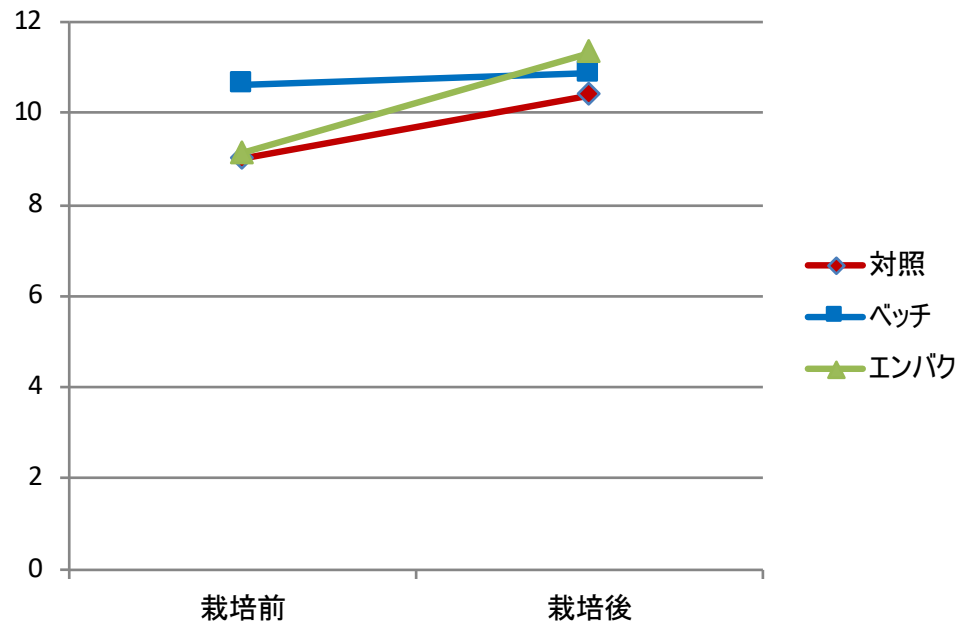
### 土壤有機炭素(%)



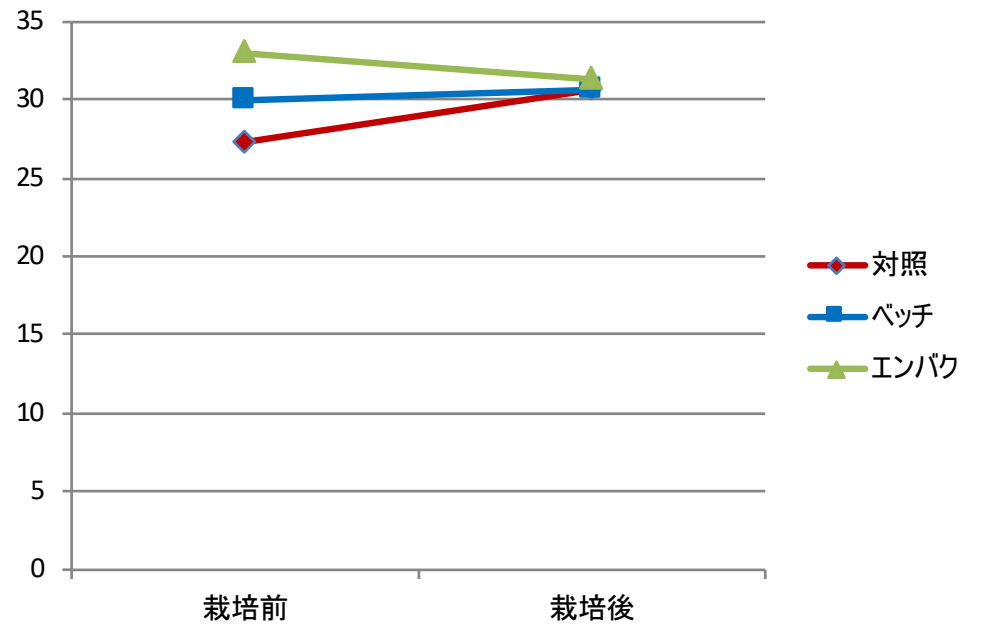
### 土壤中N含有量(%)



### C/N比



### 硝酸態窒素(ppmNO3-)





まとめ

# ダイコンへの効果

## 《ヘアリーベッチ》

### リビングマルチ

ダイコンの小型化に伴い  
全糖・ビタミンC増大  
(エンバク $\geq$ ベッチ)

### 枯死

ポリフェノール増大  
雑草抑制・水分保持  
ばらつきが対照区より小さかった

### すき込み

特筆事項なし

## 《エンバク》

### リビングマルチ

ダイコンの小型化に伴い  
全糖・ビタミンC増大  
ポリフェノール増大

### 刈り倒し

ポリフェノール増大  
(ベッチ $\geq$ エンバク)  
雑草抑制・水分保持  
ばらつきが対照区より小さかった

### すき込み

Caが増大

# ダイコンの軟腐病



# 軟腐病発生数(各区30株中)

つや風

対照区

0 / 30株

ベツチ区

6 / 30株

エンバク区

0株 / 30株

ポリフェノール増大

耐病総太り

対照区

3 / 30株

ベツチ区

0 / 30株

エンバク区

2 / 30株

ポリフェノール増大

緑輝

全区 0 / 90株

品種自体のポリフェノール多

ポリフェノール増大